

がんばろう日本

～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～

September.2017
広報No.653

キラリ 亀岡

■亀岡市の人口と世帯数

		平成29年 8月23日現在	平成28年 8月24日現在
人口		89,947人	90,569人
内訳	男	43,819人	44,133人
	女	46,128人	46,436人
世帯数		38,684世帯	38,485世帯

主な内容

- 1ページ 見えてきた! 「夢」と「希望」の姿
- 2ページ 多子世帯の通院費助成を拡充
- 3ページ 千代川小学校 交通安全子供自転車全国大会 入賞!
- 4ページ 桂川市長のまちづくり通信 など

編集発行: 亀岡市市長公室秘書広報課 / 〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地 / ☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501

ホームページ: <http://www.city.kameoka.kyoto.jp> 電子メール: office@city.kameoka.lg.jp フェイスブック: <http://www.facebook.com/kameokacity>

京都スタジアム(仮称)の鳥瞰イメージ



～京都スタジアム(仮称)の設計概要案～

京都府が亀岡市に建設する京都スタジアム(仮称)。アコモドキ生息環境などの自然と共生する場として、また、ふるさとの明るい未来を切り拓く新たなにぎわい創出の拠点として大きく期待されています。

このほど、スタジアムの設計概要案が京都府によって公表され、「夢」と「希望」をもたらす、その姿が見えてきました。

見えてきた! 「夢」と「希望」の姿

※このページのパース図はイメージであり、今後変更されることがあります。

スタジアムの姿

京都スタジアム(仮称)は、亀岡駅北土地地区画整理事業地内を建設地としています。京都府が府公共事業評価に係る第三者委員会で工事着手了解の意見を受けたことから、府と亀岡市双方において、用地買収のための財産を取得する議案がそれぞれの議会で可決され、平成30年1月頃に着工される見通しです。このほど、施設概要案が公表され、スタジアムの姿が見えてきました。

南側にJR亀岡駅、北側に保津川下り乗船場が位置し、府道亀岡園部線の高架橋が隣接しています。建築面積は約1万5,500平方メートル、延床面積は約3万3,000平方メートル、地上4階、高さ約28メートルの鉄筋コンクリート一部鉄骨造の構造になっています。屋根には周りの山並みと調和する勾配がつけられ、印象的



スタジアム内の様子



スタジアムの近景(北側広場から望む)

な保津川下りの遊船を連想させる逆台形のシルエットを形作っています。

にぎわい創出の拠点

観客の動線は、JR亀岡駅北口からロータリーを経由し、スタジアムの北側広場に至るルートがメインになります。ロータリーに隣接する商業施設とスタジアム内に設けられる商業施設が連携し、このエリアのにぎわいづくりを展開します。また、スタジアム東側に設置されるクライミングウォールは、近年、注目を集めるスポーツクライミングの西日本最大級の規模となる室内施設を目指しています。

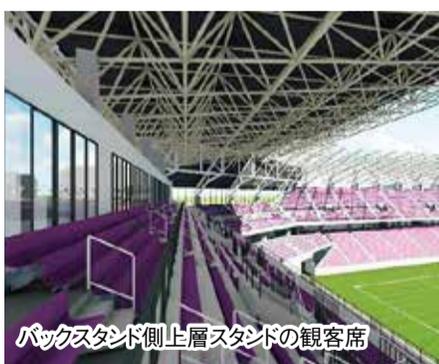
臨場感あふれる観戦環境

スタジアムは、全国初となる、観客席最前列より張り出した屋根が全席を覆う構造で、屋根には太陽光発電の設

備が計画されているほか、南側のJR線路側の屋根には、芝生への日照を確保するために日光を透過させる素材が採用されています。

屋根の軒裏は府内産木材を使用したルーバーを設け、寺院の垂木や亀岡の町屋をイメージさせる意匠を採用しています。フィールドは南北126メートル、東西84メートル、天然芝ピッチは南北120メートル、東西77メートルとなり、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールの国際試合ができる大きさとなっています。

観客席はフィールドが見やすいように傾斜がついた二層式のスタンドで、収容人員は(公財)日本サッカー協会の「スタジアム標準」クラス



バックスタンド側上層スタンドの観客席



エンターエンス

ス1に該当する約2万1,600人となっています。西京極球技場より席間隔が広くとられ、一般席のほかVIP席、ビジネスシート、スカイボックスシート、車椅子席など多様なシートを設定しています。

メイン・バックスタンドの最前列とピッチラインまでは7・5～8・5メートル、サイドスタンド側の最前列からゴールラインまでは10・5メートル、最前列とフィールド面との高低差は1・2メートルと、間近で選手プレーが観られる臨場感あふれる観戦環境を実現しています。また、スタジアム内はフィールドを取り囲むように幅4メートルのインナーコースが設置され、地元物産展やフリーマーケットなどのイベントを、天候を問わず開催することが可能です。

新たなランドマークと仲間

7月10日、本市と京都府の共催による第2回市民説明会を開催しました。この説明会の開催にあたり、事前受け付けた質問や意見、それに対する回答を市ホームページに掲載し、市役所1階市民情報コーナーでも公開しています。

このスタジアムが、未来に夢を描くシンボルとして、亀岡の新たな魅力を生み出すランドマークとなるよう、京都府と連携して事業を進めてまいります。